SA-W3

安全にお使いいただくために

必ず取扱説明書をお読みください

SA-W3 の設置・設定・運用については、必ず「安全にお使いいただくために (本書)」、および「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

●取扱説明書について
　SACM ポータルサイト (https://www.sacm.jp/) をご覧ください。
●お問い合わせについて
　本製品についてのお問い合わせは、本製品のサービス提供元までご連絡ください。
●この冊子は大切に保管してください。

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講するよう要求されることがあります 。
VCCI-A

本体および付属品の確認

以下のものが、すべてそろっていることを確認してください。

品名	個数	品名	個数
本体	1 個	AC アダプタ	1 個
電源コード	1 本	ゴム足	4 個
安全にお使いいただくために（本書）	1 冊	SA-W3 セットアップガイド	1 冊

安全上のご注意　安全のための表示と図記号

本文で使用している表示と図記号の意味は次の通りです。

	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。		風呂、シャワー室などでの使用を禁止することを示す記号です。
	水がかかる場所での使用を禁止することを示す記号です。		濡れた手で本装置に触れるのを禁止することを示す記号です。
	本装置の分解を禁止することを示す記号です。		必ず行うこと (強制) を示す記号です。
	電源プラグをコンセントから抜くことを示す記号です。		

警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

1. 電源について

	付属の電源コード、専用のACアダプタ以外は、絶対に使用しないでください。
	付属の専用の AC アダプタは、AC100V - 240V(50/60Hz) の電源以外では、絶対に使用しないでください。異なる電圧で使用すると、火災、感電、故障の原因となります。
	電源プラグは、AC コンセントに確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、火災、感電、故障の原因となります。
	電源コードの接続は、テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線にしないでください。AC コンセントが過熱し、火災、感電、故障の原因となります。
	電源コードを加工したり、傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。コードの破損による火災、感電、故障の原因となります。
	電源コードの上に物を載せないでください。コードの破損による火災、感電、故障の原因となります。
	ぬれた手で本体や AC アダプタ、電源プラグに触らないでください。感電の原因となります。
	本装置へのバッテリーによる給電は禁止されています。本装置への給電は有線の安定した電源から行ってください。

2. 次のような場所には、置かないでください

	本装置を、風呂場や加湿器のそばなどの湿度の高いところ、結露が発生しそうな場所では使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
	本装置を、電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器内に置かないでください。火災、感電、故障の原因となります。
	本装置をプロパンガス・ガソリンなど引火性ガスや粉じんの発生する場所 (ガソリンスタンドなど) では、使用しないでください。爆発や火災などの原因となります。

3. 装置について

	本装置に水などの液体が入ったり、本装置をぬらしたりしないようご注意ください。火災、感電、故障の原因となります。
	本装置の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など、液体の入った容器を置かないでください。液体が本装置にこぼれたり、本装置の中に入った場合、火災、感電、故障の原因となります。
	本装置への配線は、必ず屋内配線としてください。屋外にわたる配線は、火災、感電、故障の原因となります。
	本装置内部の点検、調整、清掃、修理は、危険ですから絶対にしないでください。本装置の内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。本装置内部の点検、調整、清掃、修理はサービス提供元に依頼してください。
	本装置の分解、改造は絶対に行わないでください。火災、感電、故障の原因となります。
	本装置を布や布団などでおおったり包んだりしないでください。熱がこもり火災や故障の原因となります。
	電源プラグのほこり等は定期的に取り除いてください。電源プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因となります。
	高信頼性や安全性が要求される用途では本装置を使用しないでください。本装置は一般用途向けに設計されており、高い安全性が要求される用途での使用は意図されておりません。
	心臓ペースメーカの近くでは、本装置を使用しないでください。電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。
	医療用電気機器の近くでは、本装置を使用しないでください。電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。
	航空機内などの無線機器の使用禁止区域や、電波障害などが発生する場所では、本装置を使用しないでください。電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。

4. こんなときには

	電源コードが傷んだときは、すぐに電源プラグを AC コンセントから抜いて、サービス提供元に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。
	万一、本装置から煙が出ている、変な臭いがするなどの異常が発生したときは、すぐに電源プラグを AC コンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して、サービス提供元にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。
	万一、本装置を落としたり、破損したりした場合、電源プラグを AC コンセントから抜いて、サービス提供元にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。
	万一、本装置の内部に水などの液体が入った場合は、電源プラグを AC コンセントから抜いて、サービス提供元にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。
	万一、異物が本装置の内部に入った場合は、電源プラグを AC コンセントから抜いて、サービス提供元にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

1. 電源について

	AC アダプタをコンセントやソケットから抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、コードが破損し、火災、感電、故障の原因となることがあります。

2. 次のような場所には、置かないでください

	本装置を直射日光の当たる場所や、温度の高い場所 (40℃以上) に置かないでください。内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。
	本装置を油飛びや湯気があたるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
	本装置を不安定な場所 (ぐらついた台の上や傾いた所など) や、振動、衝撃の多い場所に置かないでください。倒れたり落ちたりして、けがの原因となることがあります。
	本装置や電源コードを火気やストーブなどの電器具の近くに置かないでください。電源コードの被覆が溶けて、火災、感電、故障の原因となることがあります。

3. 装置について

	フラッシュメモリの書き換え中（ファームウェア更新中）は、絶対に電源を抜かないでください。故障の原因となります。
	本体は、足が下になるように置いてください。誤った置き方をすると、倒れたり落ちたりして、けがの原因となったり、火災や故障の原因となることがあります。
	本体の通風口など開口部から、内部に金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となることがあります。

	本装置を接続する場合には、必ず電源プラグを AC コンセントから抜いてください。電源プラグを AC コンセントに接続したまま、機器の接続をすると、感電の原因となることがあります。
	本装置をご使用にならないときは、安全のために必ず電源プラグを AC コンセントから抜いてください。
	本装置のお手入れをする際は、安全のため必ず電源プラグを AC コンセントから抜いてください。
	本装置の上に物を載せたり、本装置に乗ったりしないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れたりしてけがの原因となることがあります。
	本装置に磁器カード・フロッピーディスクを近づけないでください。記録されている磁気データが消えてしまう可能性があります。

4. こんなときには

	落雷の恐れのあるときは、必ず電源プラグを AC コンセントから抜いてご使用をお控えください。雷によっては、火災、感電、故障の原因となることがあります。
	雷が鳴っているときは、本体、電源プラグ、電源コード、専用の AC アダプタ、本装置に接続したケーブル類に触れたり、機器の接続をしないでください。感電の原因となることがあります。

電波に関する注意

本装置は、無線 LAN 利用時に 2.4GHz 帯、5GHz帯、および 6GHz 帯の電波を使用します。本装置の使用にあたり無線局の免許は必要ありませんが、以下の注意をご確認ください。また、本装置は日本国内でのみ使用できます。

本装置が使用する 2.4GHz 帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局、および免許を要しない特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局等が運用されています。

本装置は 2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域を回避可能です。変調方式は DS-SS 方式及び OFDM 方式を採用しており、想定干渉距離は 40m 以下です。

本装置は IEEE802.11 a/n/ac/ax/be 通信利用時は 5GHz 帯の電波を利用します。5.2GHz 帯 (W52) および 5.3GHz 帯 (W53) の電波の屋外使用は電波法により禁じられています。

本装置が 5GHz 帯で使用するチャネル

帯域	チャネル
5.2GHz 帯 (W52)	36, 40, 44, 48ch
5.3GHz 帯 (W53)	52, 56, 60, 64ch
5.6GHz 帯 (W56)	100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140, 144ch

5.3GHz帯(W53)または5.6GHz帯(W56)を使用する場合は、法令により次の制限事項があります。

・各チャネルの通信開始前に、規定された期間レーダ波検出を行います。この期間内は通信できません。
・通信中にレーダ波を検出すると自動的にチャネルを変更する場合があります。これにより通信が中断されることがあります。

本装置は IEEE802.11 ax/be 通信利用時は 6GHz 帯の電波を利用します。本装置での 6GHz 帯の電波の屋外使用は電波法により禁じられています。

本装置には、電波法に基づく工事設計認証済みの無線装置を内蔵しています。また、本装置には、電波法に基づく技術基準適合証明及び電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けた通信機器を内蔵しております。以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。

・本装置を分解 / 改造すること
・本装置に貼ってある証明ラベルをはがすこと



2.4 : 2.4GHz の周波数帯域を使用する無線設備を表す
DS/OF : 変調方式に DS-SS方式、および、OFDM方式を採用していることを表す
4 : 想定される干渉距離が「40m 以下」であることを表す
■■■ : 全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを表す

設置・発熱に関する注意

本装置の周りには、前後左右及び上側に 40mm 以上の空間を確保してください。

装置の表面から放熱をしていますので、異物を載せたり、貼り付けたりしないでください。

本装置を重ねて設置しないでください。故障、誤動作の原因になるほか、バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となります。

設置する場合は、高温に弱い材質でできた物に載せて使用しないでください。設置面の変形や変色その他の異常を起こす場合があります。

設置する場合は、吸気及び排気が行われるように設置してください。密閉された空間や風通しの悪い場所でご使用にならないでください。

通風口をふさがないでください。本装置の冷却が妨げられると、内部の温度が異常に上昇します。異常な温度上昇は、装置の誤作動だけでなく本装置の破壊につながる場合があります。

本装置の表面に一部熱くなる場所があります。手や膝の上に置くなど、人体が長時間触れていると、低温やけどなどを引き起こす恐れがあります。

本装置の周りに発熱している物を置かないでください。特に上面側に発熱している物を置かないでください。また本装置を上下に重なる位置で配置しないでください。

本装置の周りに他の装置を置かないでください。重ねて設置した場合、本装置の冷却が妨げられ、変形や変色を起こしたり、火災の原因となることがあります。

© Internet Initiative Japan Inc. All rights reserved.
本書に記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。(2026 年 2 月作成)

発行 : 株式会社インターネットイニシアティブ
URL : https://www.sacm.jp/
J-SMF2020-0001